

# 令和4年度学校自己評価システムシート (県立川越工業高等学校)

目指す学校像	新しい時代を切り拓く たくましく 創造性豊かな実践的技術者を育成する
--------	------------------------------------

重点目標	1 自らの針路を定め、進路実現を果たすに必要な共通教科並びに専門分野の学力と体力を育む 2 主体的・協働的に課題解決に取り組み、より高い目標に果敢にチャレンジする精神を育てる 3 地域との連携を深め、地域に開かれた教育課程の実践をととして、信頼される学校づくりに取り組む
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価					年度評価(月日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<b>【現状】</b> ・生徒はやさしく穏やかであり、授業も円滑に行われている。 ・進学者が増加傾向にある。  <b>【課題】</b> ・進学希望者をはじめ、継続教育に対する生徒の高い志を育成する必要がある。 ・共通教科並びに専門分野を深化させ生徒の学習意欲をさらに高めるとともに、確かな職業観を育成する必要がある。 ・学科間連携を推進し、学科を越えて生徒が互いに交流し学び合う機会を提供する必要がある。	・進路実現100%に向けたキャリア教育の実践  ・共通教科並びに専門分野の学力と体力の向上を図る授業改善	①生徒に好奇心や達成感を抱かせる課題や学習内容、学習方法等を工夫し、各学年において生徒が自ら針路を定められるよう段階的な進路指導を実施する。  ②ICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びを引き出す授業に取り組むとともに指導と評価の一体化を目指した教材の作成や授業改善を実施する。	①生徒の進路意識の向上と進路実現に向けた取組により、生徒アンケートにおいて、進路未定者数が前年度より減少したか。  ②教員アンケートから、ICTの活用状況と各教科において作成した教材の共有が前年度より向上したか。			
2	<b>【現状】</b> ・挨拶・身だしなみ・清掃など、生徒の基本的な生活習慣は良好である。 ・コロナ禍において、部活動や生徒会活動などが、制限内で主体的・協働的に行われている。  <b>【課題】</b> ・生徒一人一人を高校生活に目標を持って前向きに取り組ませる必要がある。 ・資格取得やコンテスト等へのチャレンジ、部活動や生徒会活動など生徒主体の活動を支援するとともに、自校に誇りを持って取り組ませる必要がある。	・生徒の心身の成長と規範意識の向上  ・資格取得やコンテストに向けた指導と部活動や生徒会活動等による体験活動、地域交流・ボランティア活動等の充実	①組織的な登校指導や声かけ運動、身だしなみ指導等を実施する。  ②資格取得やコンテスト等に関する情報を積極的に提供し、資格取得等に向けた特別講座等の実施や部活動、生徒会活動、地域交流・ボランティア活動等を通して生徒の多様な体験活動を支援する。	①遅刻・欠席者数が前年度より減少したか。また、生徒の挨拶、身だしなみ、清掃など、基本的な生活習慣の状況が前年度より向上したか。  ②資格取得やコンテスト等に取り組む生徒数、部活動・生徒会活動の取組状況、地域交流・ボランティア活動への参加状況が前年度より向上したか。			
3	<b>【現状】</b> ・地域と連携した教育活動が行われている。 ・日々の教育活動をホームページ等により情報発信している。  <b>【課題】</b> ・地域社会との連携を強化し、地域に開かれた教育課程を推進する必要がある。 ・HPの更新頻度を向上させる等、本校の魅力ある情報の発信に積極的に取り組む必要がある。	・地域社会と連携した教育活動の実践  ・学校ホームページの更新等による積極的な魅力発信と情報発信	①地域自治体や企業、大学等と連携した取組を積極的に実施する。  ②ホームページに日々の教育活動を積極的に発信し、保護者や中学生のニーズに沿った、きめ細やかな情報提供を行う。	①地域社会等との連携先や取組数が前年度より増加したか。  ②保護者アンケートによる学校への満足度が前年度より向上したか。			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日 令和 年 月 日		
学校関係者からの意見・要望・評価等		